

第5回文化祭 成功裡に終わる

事業部長 二上拓夫

第5回文化祭は素晴らしい天気となった6月8日（水）、11時から中央公民館で開催されました。展示部門は49点の作品と5サークルの紹介がありました。写真・絵画・書・面・工芸品・俳句・生け花等、来場者の目を楽しませてくれました。特に、手作り人形や着物地で作られた洋服は注目されていました。

舞台部門は、12時25分 稲村洋二会長の挨拶から、演目の開始です。

まずは、楽悠クラブのメンバーを中心とした混声コーラス。NHKドラマでおなじみの「365日の紙飛行機」「ふるさと」など。続いて民話の会の語り「河童の伝説証文」また、「むかしのところざわの風景」を、絵コンテで見せながらのお話でした。

ガラッと変わったシニア・ダンス、昨年に引き続き所沢シニア世代地域デビュー支援の会は学生とのコラボで、キラキラと輝くシニア世代のシニア・ダンス。若い女子大生に乘せられ、会場の皆さんも立ち上がり『GO! ダンス!』皆さん、楽しんでいました。ここで、前半の部終了。

35分間の休憩で ホワイエの展示会場へ足を運んでくれた方がほとんどでした。後半は、おなじみのところざわバンドからのスタートです。赤いアロハシャツに白パンツで花のレイを付けて、気分はハワイです。まずはそのハワイアン曲から、我々世代の歌謡曲へと楽しませていただきました。

圧巻は「笑いヨガ」で軽妙な先生の語りかけに、会場の皆さんも恥ずかしさを忘れ、先生の話術の世界へ。笑うことは脳の活性化や健康寿命を延ばしたり、認知症防止に役立つといわれています。舞台と会場が一体化して「ワハハハ！ ワハハ！」。続いて、ドラマチック・カンパニーによる朗読劇シェイクスピアの「ウインザーの陽気な女房たち」。日頃の練習を見事に披露しました。

最後は例年通り、懐かしの映画・鑑賞会の太鼓と踊りで締めくくりです。

今年の踊りに選んだのが「同級会音頭」昔懐かしき友と久しぶりに会った喜びをうたった歌詞でした。会場の皆さんにも思い当たるものではなかったでしょうか。軽快な踊り、踊っている本人たちが一番楽しんだようです。

フィナーレの踊りは、炭坑節と所沢音頭で会場の参加者も大きな輪となり踊っていただきました。

これをもって文化祭は無事に終了しました。おいでいただいた方々、参加されたサークル、出展された皆さん並びに運営に当たられた皆さんには大変感謝をしております。

また今回、熊本震災の義援金募金箱を設置させていただきました。来場された皆様の心からの寄付金14,396円は、所沢市の日本赤十字社へ納めさせていただきます。ご協力有難うございました。